

医感第〇〇〇〇号

令和 8 年〇月〇日

厚生労働省医政局医事課長 様

大阪府医療対策協議会

会長 〇〇 〇〇

医師臨床研修医の募集定員配分に関する要望

初期臨床研修は、医師としての基本的な価値観、到達すべき資質・能力及び基本的診療能力を習得するための期間であり、優れた研修環境のもと幅広い症例を経験する必要があります。「医師臨床研修制度の見直しに関する報告書」（令和 6 年 3 月 25 日医道審議会医師分科会医師臨床研修部会）においても研修の質の維持・向上及び研修環境の整備を進めることが必要と報告されており、大阪府が実施したアンケート結果※では、多くの研修医が、優れた研修プログラムや症例数が多い病院での研修を希望しています。※別添「R7 年 12 月大阪府実施_臨床研修医を対象としたアンケート結果<抜粋版>」を参照

また、大阪府では、毎年、定員数を超過する研修希望者があり、病院からも、国からの定員配分数を超える設置希望があるものの、配分数の削減により、研修医が希望する病院で研修を受けることが困難となっている一方で、病院設定定員数や採用実績を大幅に超過する定員が国から配分されている県もあります。

多くの研修医がより良い研修環境のもと、希望する研修を受けることができるよう、研修環境の充実度及び病院の設定希望数を考慮いただき、都道府県別の定員数を配分いただきたく以下のとおり要望します。

1. 「医師臨床研修制度の見直しに関する報告書」において評価受審が推奨され、客観的評価が可能な第三者機関（JCEP）の認定状況を新たな加算項目として設けること（認定医療機関の割合が上位 2 分の 1 以上の都道府県に加算など）。
2. （1）前年度の都道府県別の病院設定定員数（実績）や希望定員数を考慮し、都道府県別の定員数を配分すること。
（2）国が都道府県に配分した定員のうち、都道府県から臨床研修病院への配分後に残余が生じた場合には、当該残余枠を、希望する他の都道府県に国が再配分すること。
（3）仮に（1）・（2）が困難な場合は、都道府県による調整のもと合意した定員枠の融通（流用）を認めること。

大阪府 健康医療部 保健医療室 医療・感染症対策課
医療人材確保グループ

TEL：06-6944-8183

FAX：06-6944-8227

E-mail：iryotaisaku-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp

臨床研修医に対するアンケート結果（R7 年 12 月実施）＜抜粋＞

- (1) 調査目的：府内の基幹型臨床研修病院に所属する研修医が、研修病院の選択にあたり、重視している点等を把握するため。
- (2) 調査対象：府内臨床研修病院で研修中の研修医（1 年次及び 2 年次）
- (3) アンケート回答数：287 名（約 24%）

臨床研修病院（プログラム）を選んだポイント、優先順位の高いものを 3 つ選択。

回答	人数	割合
臨床研修のプログラムが充実しているか	147	17.3%
様々な診療科・部門でバランス良い経験を積めるか	110	13.0%
指導体制が充実しているか	103	12.1%
多くの症例を経験できるか	80	9.4%
熱心な指導医が在職しているか	42	5.0%
プライマリケアに関する能力を身に付けられるか	34	4.0%
臨床研修後の進路やキャリアを考えて有利であるか	34	4.0%
出身地であるか	31	3.7%
病院の施設・設備が充実しているか	31	3.7%
処遇（給与・福利厚生）が良いか	31	3.7%
高度な技術や知識を身に付けられるか	30	3.5%
いわゆる「たすきがけプログラム」があるか	27	3.2%
大都市圏であるか	23	2.7%
希望する専門研修プログラムと同じ病院だから	22	2.6%
労働環境（勤務時間・当直回数）が良いか	19	2.2%
先輩等の評判が良いか	18	2.1%
出身大学であるか	15	1.8%
希望する専門研修プログラムが、系列大学や同大学の関連病院のプログラムだから	15	1.8%
優れた研修医が集まっているか	13	1.5%
地域医療研修の内容に魅力があるか	8	0.9%
臨床研修が終了しやすい病院(プログラム)であるか	5	0.6%
学位を取得するのに有利であるか	1	0.1%
奨学金返還免除要件に指定されたため	1	0.1%
雑用が少ないか	0	0.0%
特になし	2	0.2%
その他	6	0.7%
合計	848	

多くの研修医は研修病院の選択にあたり、プログラムが充実しているか、様々な経験が積めるか、指導体制が充実しているか、多くの症例を経験できるか、といった点を重要視している。